



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R3.11.24発行
第11号
校長 横山 聡

ひしのみ発表会 学習の成果を発表しました！

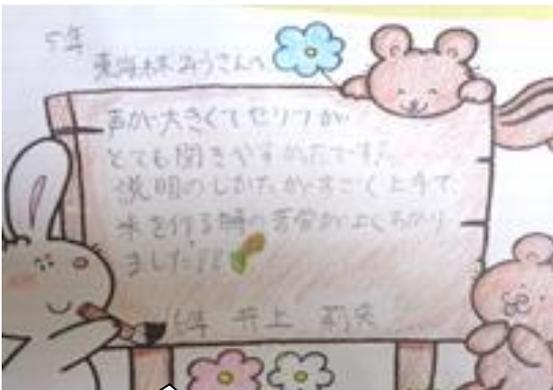
10月30日（土）「ひしのみ発表会」を開催しました。昨年度に引き続き、学年部ごとにわかれて感染予防に努めながらの発表となりました。

それぞれの学年あるいは学年部ごとに発表スローガンを立てて取り組んできました。どの学年もこれまでの学習で学んできた各教科の内容を総合的にまとめながら、自分達の学習の成果が見ている人に伝わるように工夫した発表となっていました。

運動会への取り組みと同様、大切にしているのは発表にいたるまでの子ども達の学びの過程と発表会後の振り返りです。例えば、6年生は取り組みの中で「これから1週間みんなと協力して、助け合い、皆がたのしんでもらえるようにしたい。」「ひしのみ発表会も、これで最後なので、クラスの良さを引き出せたらいいなと思います。」と思いを綴っています。発表会を終えて、佐藤美希さんは「例年に比べて短い練習期間で、道具を作ったりセリフを全部覚えたりして完成できて本番では、ちゃんと出来て良かったです。体育館練習も短く、練習で気づいたことも多く修正するのが大変でした。表の字をもっと太くすれば、後ろの席の人も見えるかなって本番が終わった時に思いました。（中略）台本作りでは、歴史組の中でも、わかれてしていたので、早く終わった人から終わっていないところに助けたりして、助け合いができました。」と自分達の取り組みを振り返っています。



6年生から全学年・全児童へメッセージカードが届きました



6年生の井上莉央さんから5年生の東海林美羽さんへのメッセージです。「声が大きくてセリフがとても聞きやすかったです！説明の仕方がすごく上手で米を作る時の苦労がよくわかりました！！」

本校では、全学年でこのような取り組みを重要視しています。その効果として、「自分が何を学習したのかがわかる」「自分が何を身につけたのかがわかる」「どうしてまちがったのか、うまくいかなかったのかを振り返ることができる」「どうしてうまくいったのかを振り返ることができるようになる」「次の学習で生かすことがわかる」「自分の成長がわかるようになる」などがあげられます。

学校行事は、児童が主体的・協働的に活動する貴重な学びの機会です。今回の学びをこれからの学習や生活に活かしていけるよう指導・支援に努めて参ります。

5学年 稲刈り体験 ご協力ありがとうございます



田んぼを貸してくださっている室岡和征さんはじめ、JA青年部の方々にご協力いただき、5月の田植え体験に続いて、稲刈り・脱穀体験をさせていただきました。

5学年は、社会科の農業の学習でも米作りに関わる方々の生産性や品質を高めるための努力について

学習をしています。また、明治地区の産業の大きな特色である米作りについて、体験を伴いながら学習できることは大変貴重な機会です。

刈り取った稲を束にして、交互に稲杭にかけて乾燥させる作業は、子ども達にとって難しいものでしたが、農家の方の知恵と工夫を実感することができました。稲刈り体験を通して、改めて昔の農家の方々の苦勞を感じていました。また、田に落ちていた稲を一本一本大切に拾い上げる農家の方やJAの方の姿からも米作りへの農家の方々の思いを感じ取っていたようです。ご協力ありがとうございました。



心身共にすこやかな子どもをめざして



学校保健委員会開催



11月1日(月)に、学校保健委員会を開催しました。ご多用の中、校医の先生をはじめ、PTA 役員の皆様にご参加いただき、健康課題やメディアの利用について貴重な意見交換を行うことができました。今回は、本校の内科校医である近岡先生から「生活習慣とメディアコントロール」について講話をいただきました。

川島隆太氏著『スマホが学力を破壊する』(集英社新書)を参考資料としながら、以下の内容をわかりやすく説明いただきました。

- スマホを4時間以上使用すると、2時間分の学習効果が消える。ほとんど家で勉強しないけれども携帯・スマホを使わない人の方が成績がよくなってしまふ。
- スマホを使わなくなると成績が急回復する。
- うつ・不眠の増加は、SNSの発展とリンクしている。メディア利用時間が長いほど不眠になるという調査結果が出ている。

詳しくは、学級懇談会でお配りします「学校保健委員会だより」をご覧ください。子どもたち自身がメディアとのつきあい方を考え、自分を律する力を身につけていくことがポイントになりそうです。

ぜひ各ご家庭で話題にさせていただきますようお願いいたします。